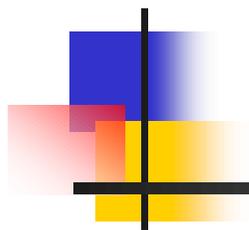
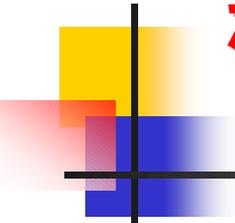


大阪府域自治体の「温暖化対策」



2009・1・31.

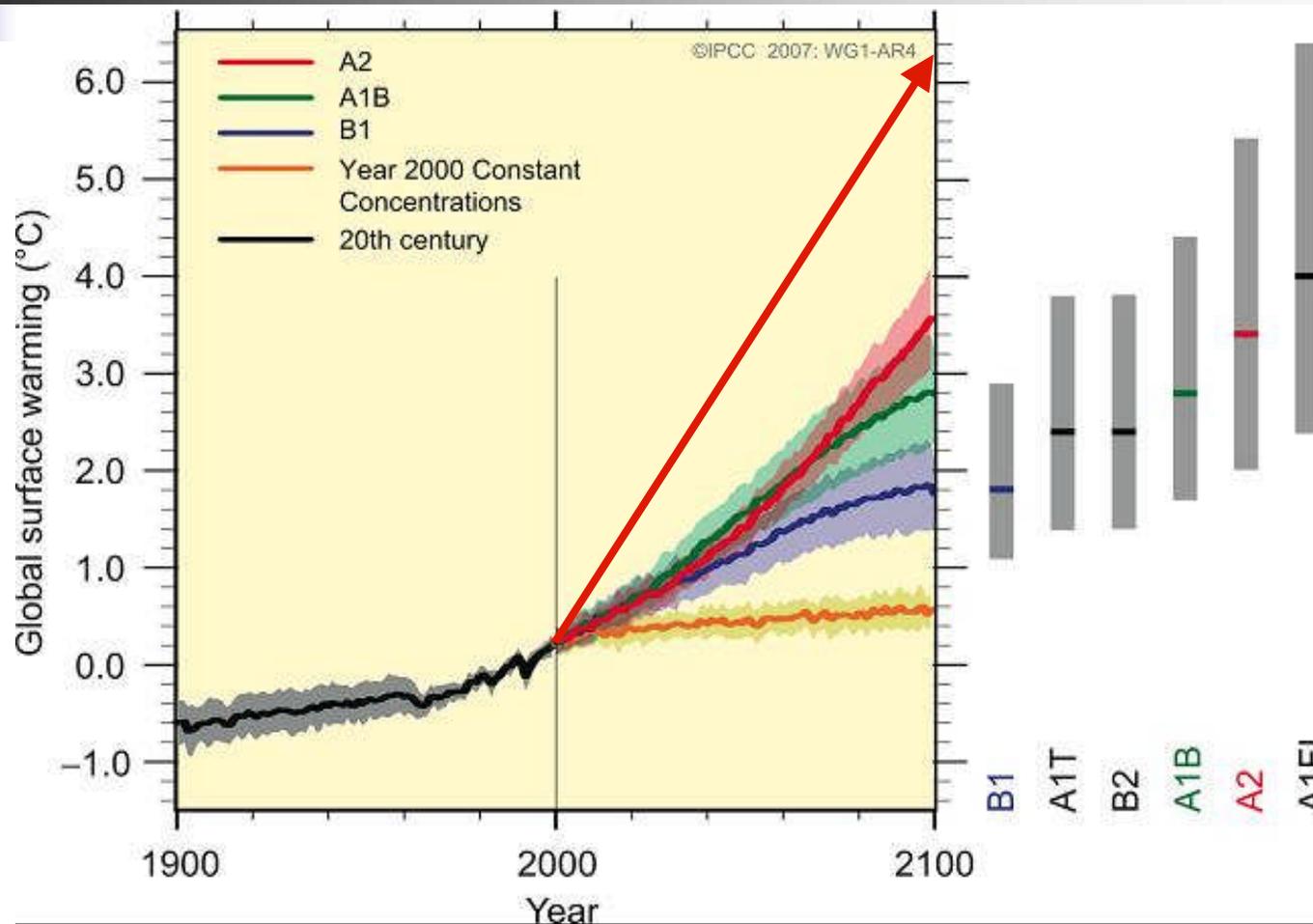
おおさか市民ネットワーク 藤永延代



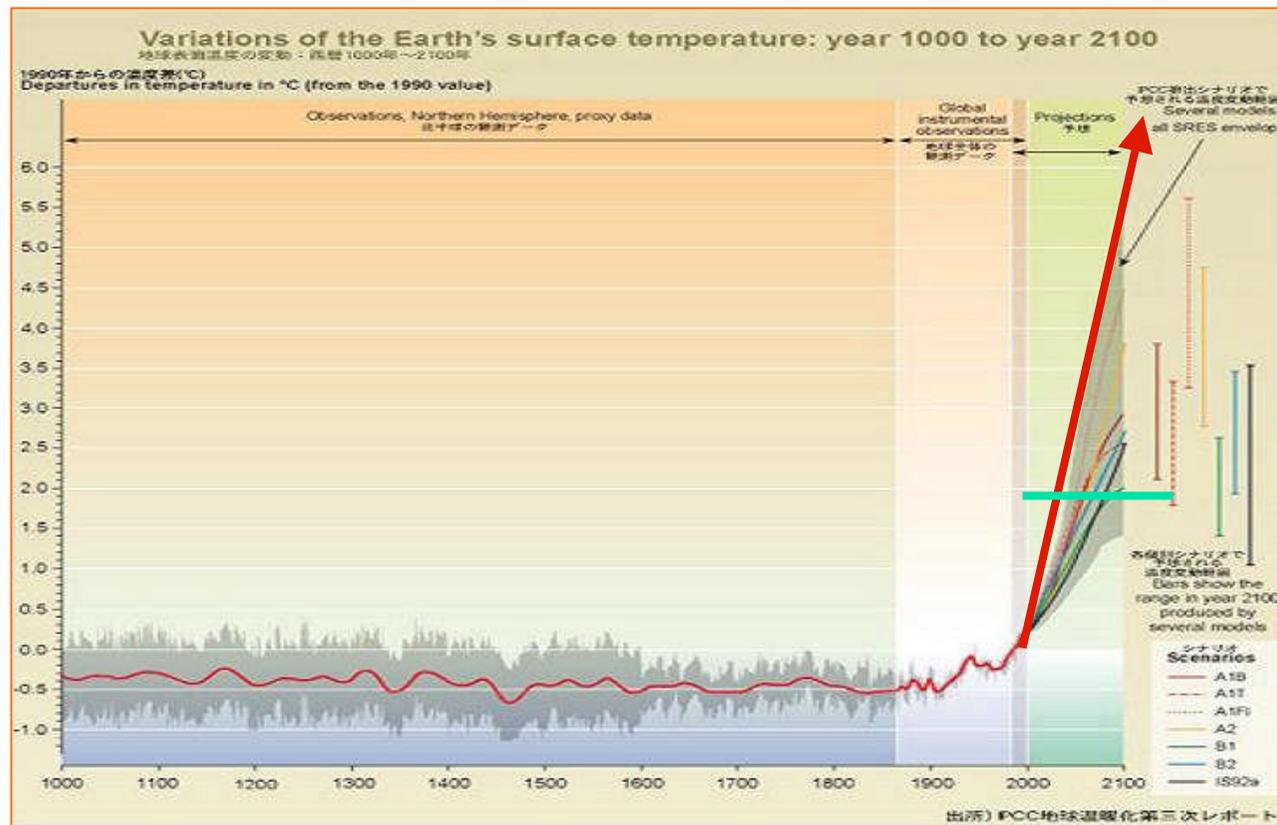
なぜ、地方自治体の対策を重視するのか？

- 温暖化は間違いなく進行している
- 過去1000年間＝地球の平均気温はほぼ15°Cで安定
- 20世紀の100年間(1900～1999)地球の平均気温は0.6°C上昇(IPCC第3次評価報告書)
- 1906年～2005年の100年間に地球の平均気温は0.74°C上昇(IPCC第4次評価報告書)＝気温上昇は徐々に加速している。人為起源であるとほぼ断定。
- 2008年6月、地球温暖化対策推進法改正
都道府県・政令市・中核市・特例市には「温室効果ガス排出抑制計画の策定」が義務づけられた。
足元の対策がどうなっているか、知る必要があった。

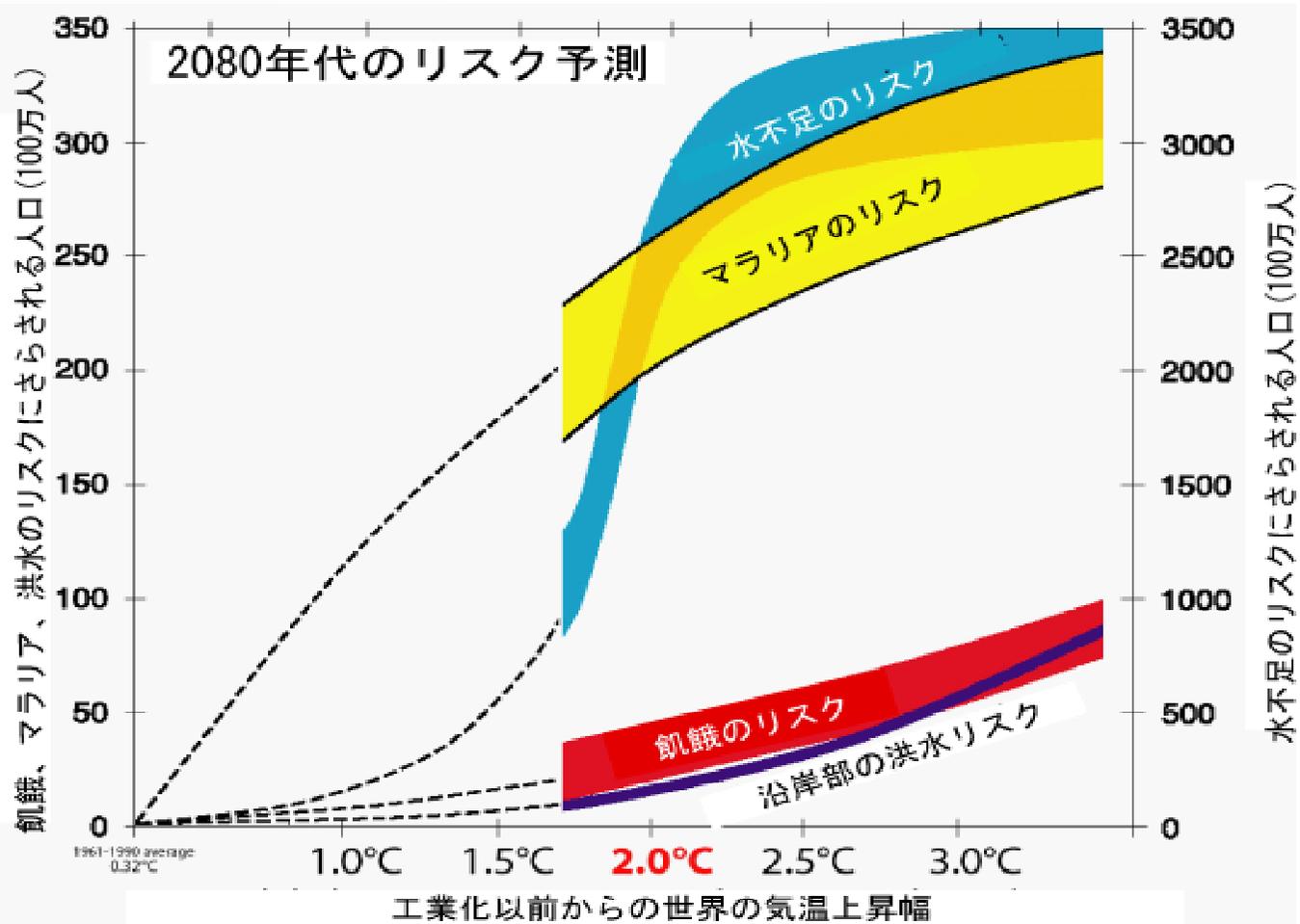
21世紀の気温上昇予測



IPCC過去1000年気温上昇予測



2°Cが限界



出所: Parry et al., Millions at risk, Global Environmental Change, (2001) より作成



**Gurgler Ferner
Langtalereck
Obergurgl, Öztaler Alps,
Austria**

1925



**Wolfgang Zängl & Sylvia Hamberger.
Glaciers in the greenhouse.
Stone-ford: Tecklenborg publishing house,
2004.**

南極大陸が海に流れる！ ハムナ氷瀑

南極昭和基地南方 海洋に流れ出す棚氷を「ハムナ氷瀑と呼ぶ

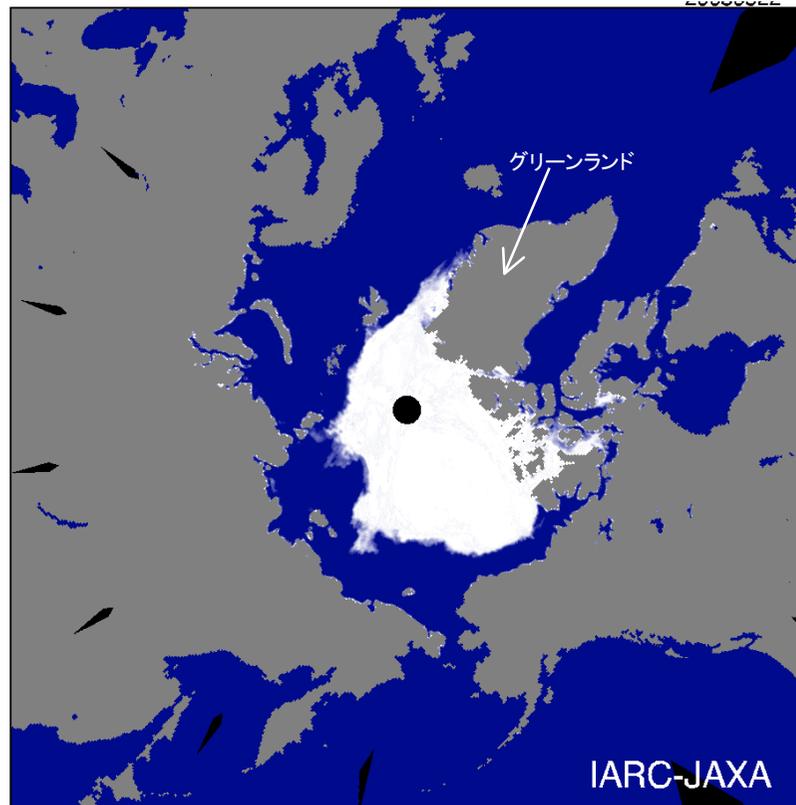


写真提供：中島英彰（国立環境研究所）

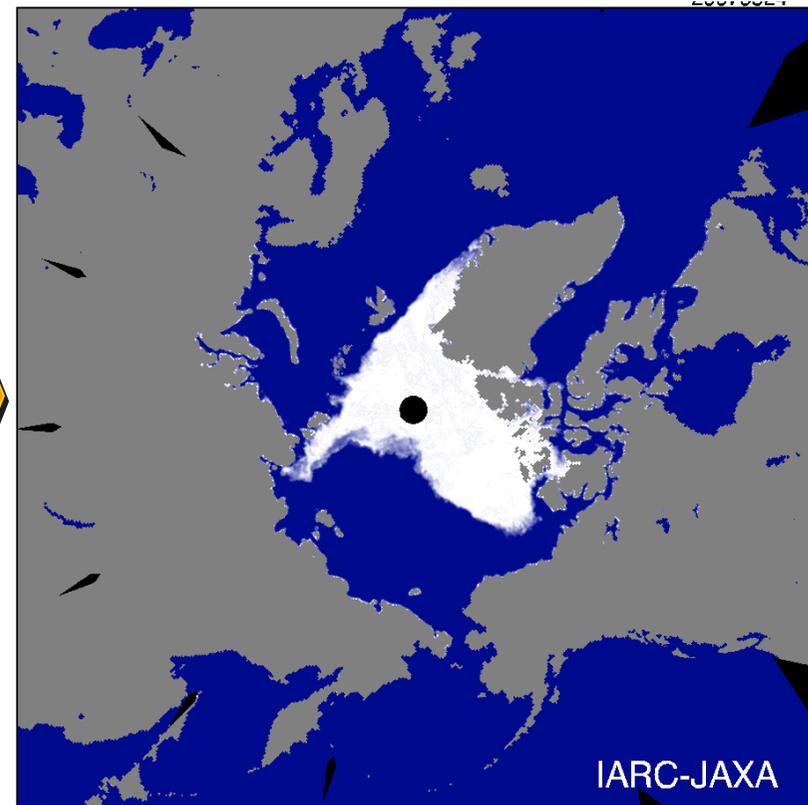
北極圏への影響

図 北極海の海水面積

海水面積532万km³【2005年9月22日】



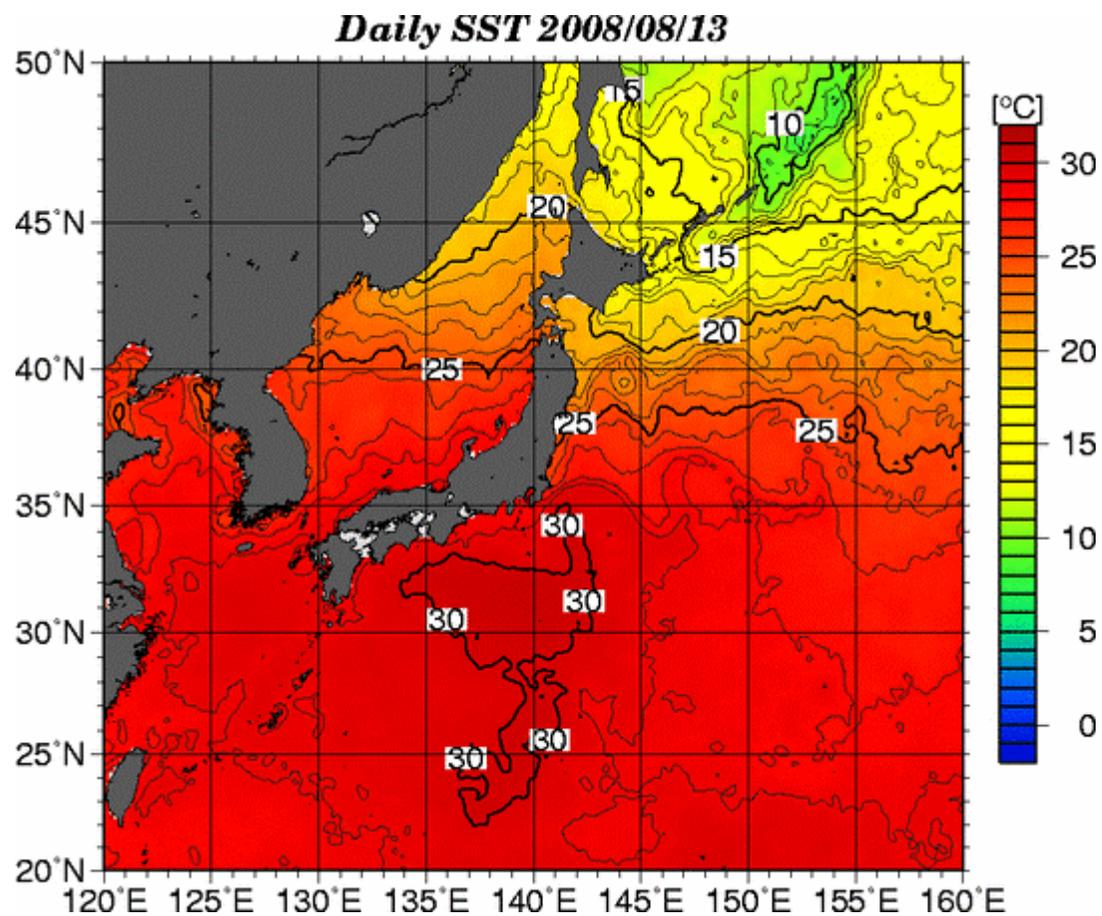
海水面積425万km³【2007年9月24日】



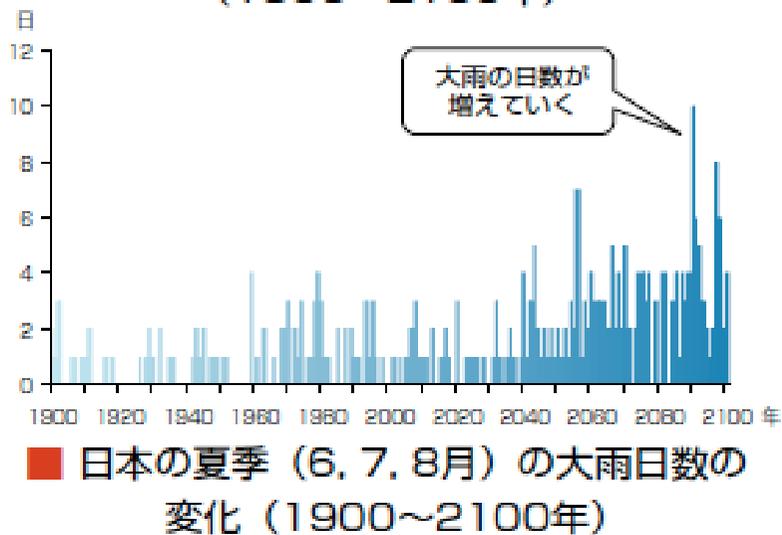
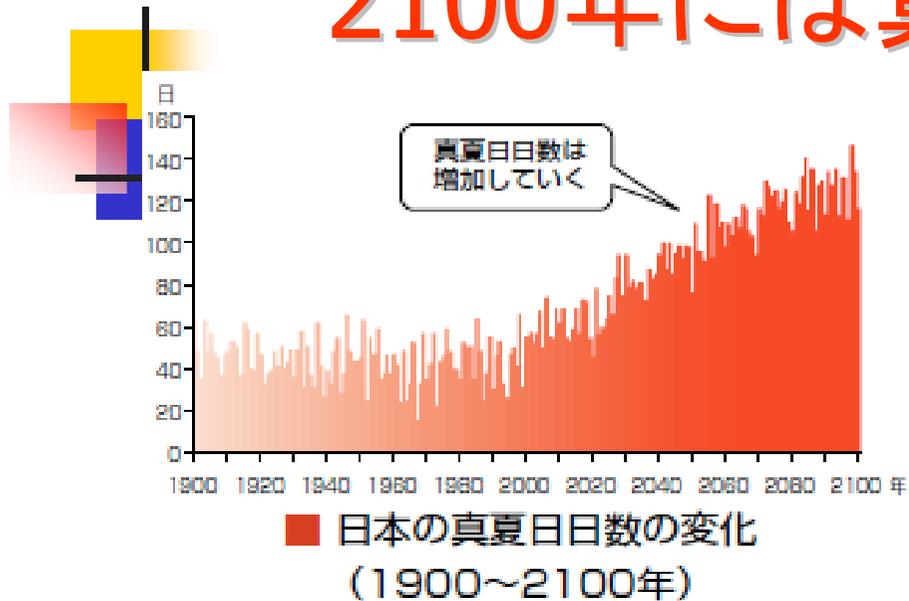
出所:宇宙航空研究開発機構 北極圏海水モニター(2007)

海も暑い！

気象庁：北西太平洋月平均海面水温平年値2008年8月

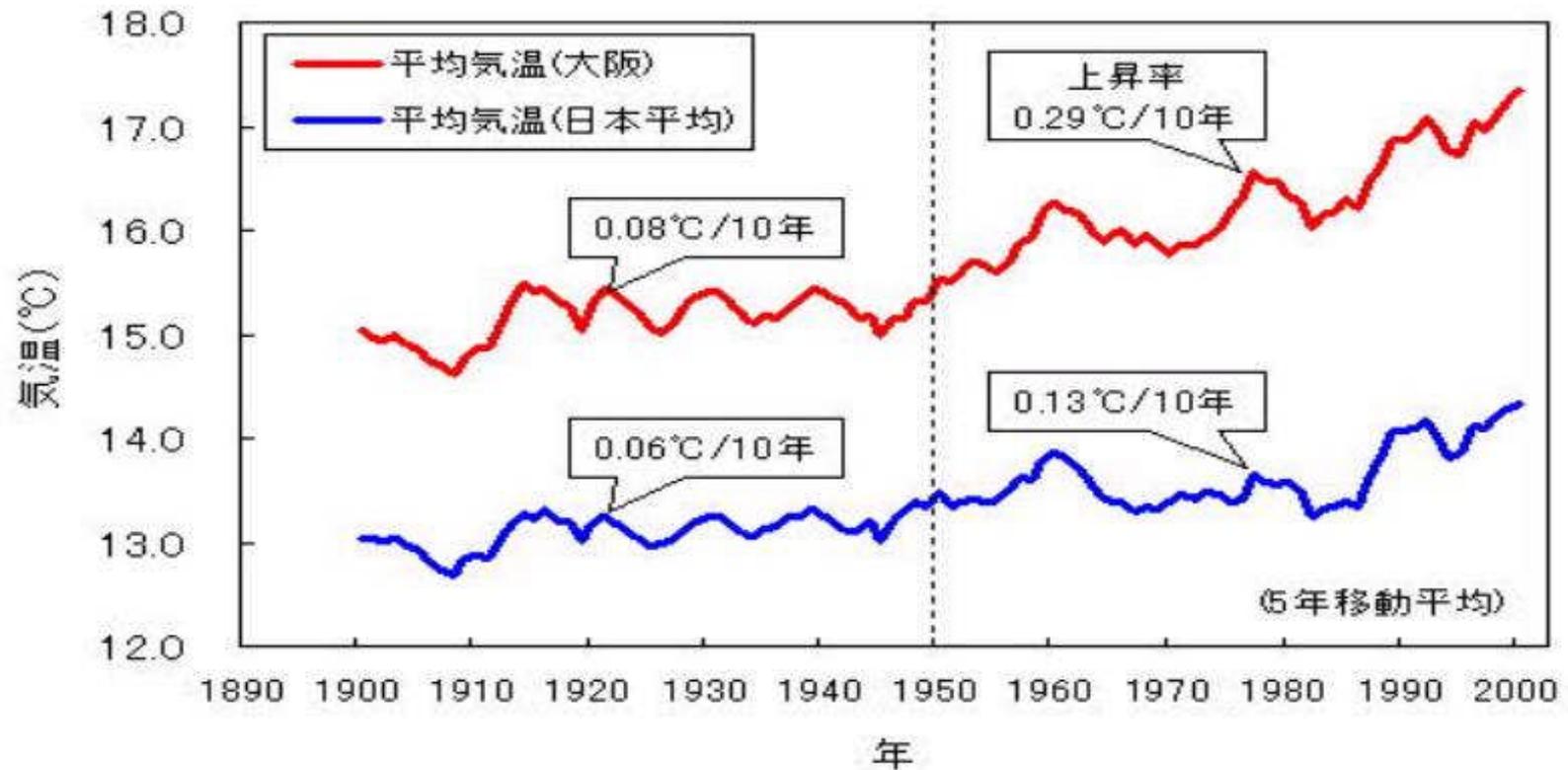


2100年には真夏日が140日？



- 「地球シミュレータ」で予測した最新の結果
 - 日本の平均気温は21世紀末には4.2℃上昇
 - 真夏日は現在のほぼ2倍、140日に
 - 降水量は20%増加。大雨の頻度も増加。

大阪における過去100年の気温変化



大阪では過去100年間で2.1°Cの平均気温上昇

気温と熱中症

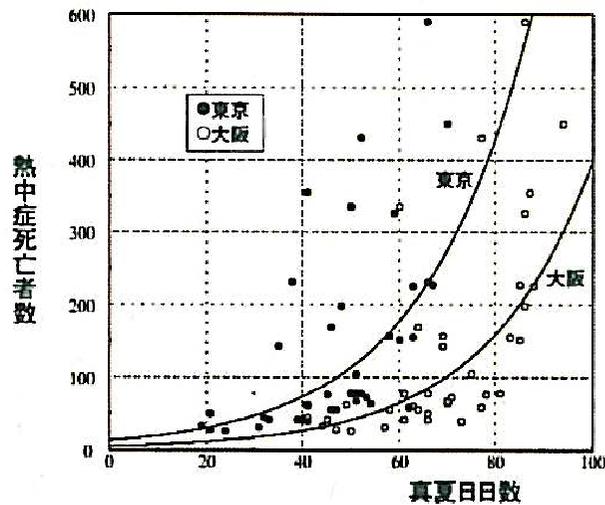


図1-4 真夏日の日数と熱中症死亡者数の関係
(1968年~2005年)

(提供：京都女子大学教授 中井誠一氏)

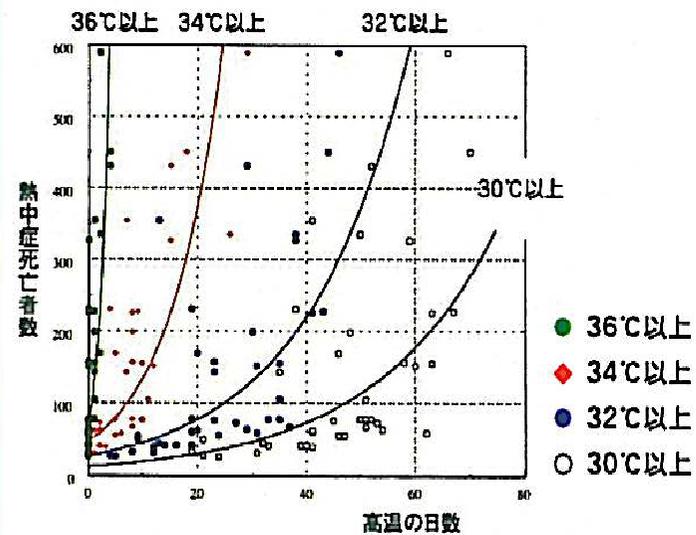
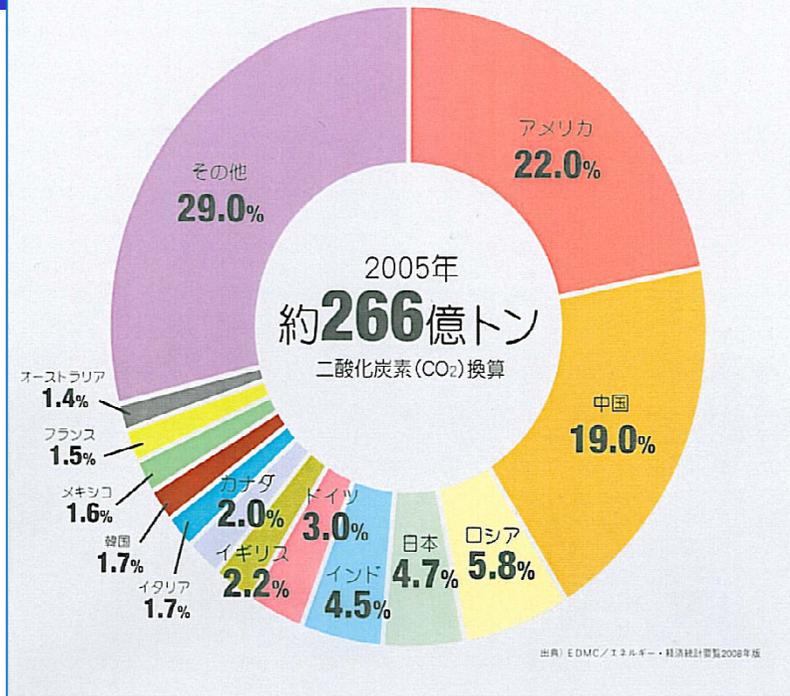


図1-5 高温の日数と熱中症死亡者数
(日最高気温が一定以上の日数)

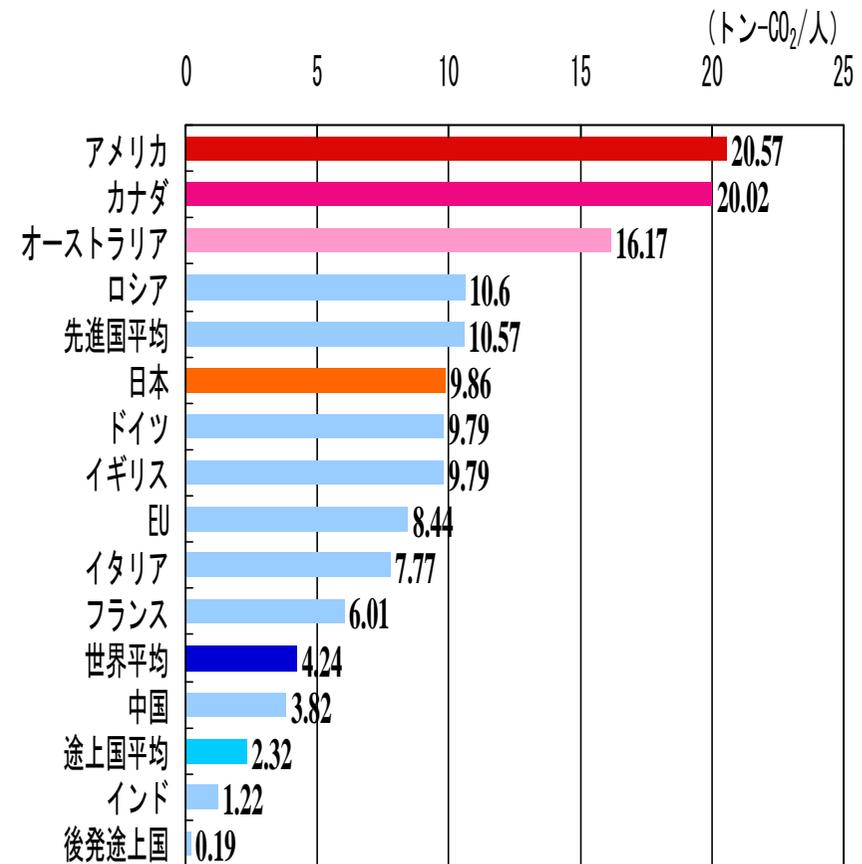
(提供：京都女子大学教授 中井誠一氏)

世界のCO2排出量

世界の二酸化炭素排出量
— 国別排出割合 —



- アメリカ人一人あたり排出量はインド人の**17倍**
- 中国人の**5.38倍**



- | | | | |
|--------|----------|-------|----------|
| ① アメリカ | 5863百万トン | ② 中国 | 5082百万トン |
| ③ ロシア | 1551百万トン | ④ 日本 | 1250百万トン |
| ⑤ インド | 1191百万トン | ⑤ ドイツ | 814百万トン |

京都議定書を履行するドイツ

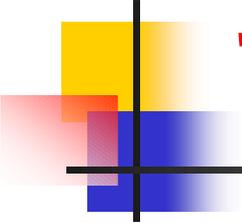
温室効果ガス削減目標と削減実績（1990年比）

	ドイツ		日本	
	削減目標	削減実績	削減目標	削減実績
2005年 ¹⁾	-25%	-16% ³⁾	-	+13% ⁴⁾
2008~12年の平均 ²⁾	-21%	-19% ⁵⁾	-6%	+7.4% ⁶⁾

1) 2005年の削減目標はCO₂ 2) 温室効果ガスの削減目標 3) 2002年

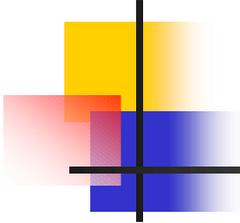
4) 2004年 5) 2003年 6) 2004年

（出典）ドイツ：ドイツ領事館『環境先進国ドイツ』、日本：温室効果ガスインベントリオフィス



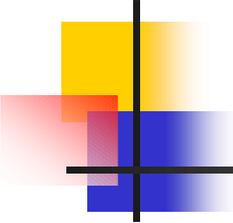
アンケート結果

- 実施日 2008年8月～
- アンケート要請先 大阪府内43市町村
- 回収41市町村 回収率95%
- 設問① 担当部局はありますか？
 - 地球環境保全課あり 1市(大阪市)
 - ほとんどが兼務で回答自治体平均で5~6人
 - 温暖化対策専門部局がない。



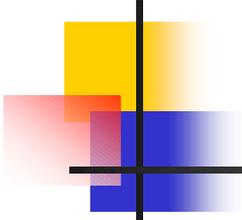
温暖化対策予算は？

- 予算ゼロ 12市町村 29%
- 大阪市 一般会計 1兆5千9百億円
- 温暖化対策 1億7千万円 約0.1%
- 多くの自治体で一般会計予算の0.1%
- 豊能町はなんと 1万6千円？



地域からのCO₂排出量は？

- 32市町村(74%)で把握されていない。
- 削減計画義務化されている
岸和田市・茨木市・八尾市・寝屋川市が
把握されていないのは問題？
- * 回答の中には「なし」というものも…。



実際に行っている活動

「打ち水」

「ゴーヤカーテン」

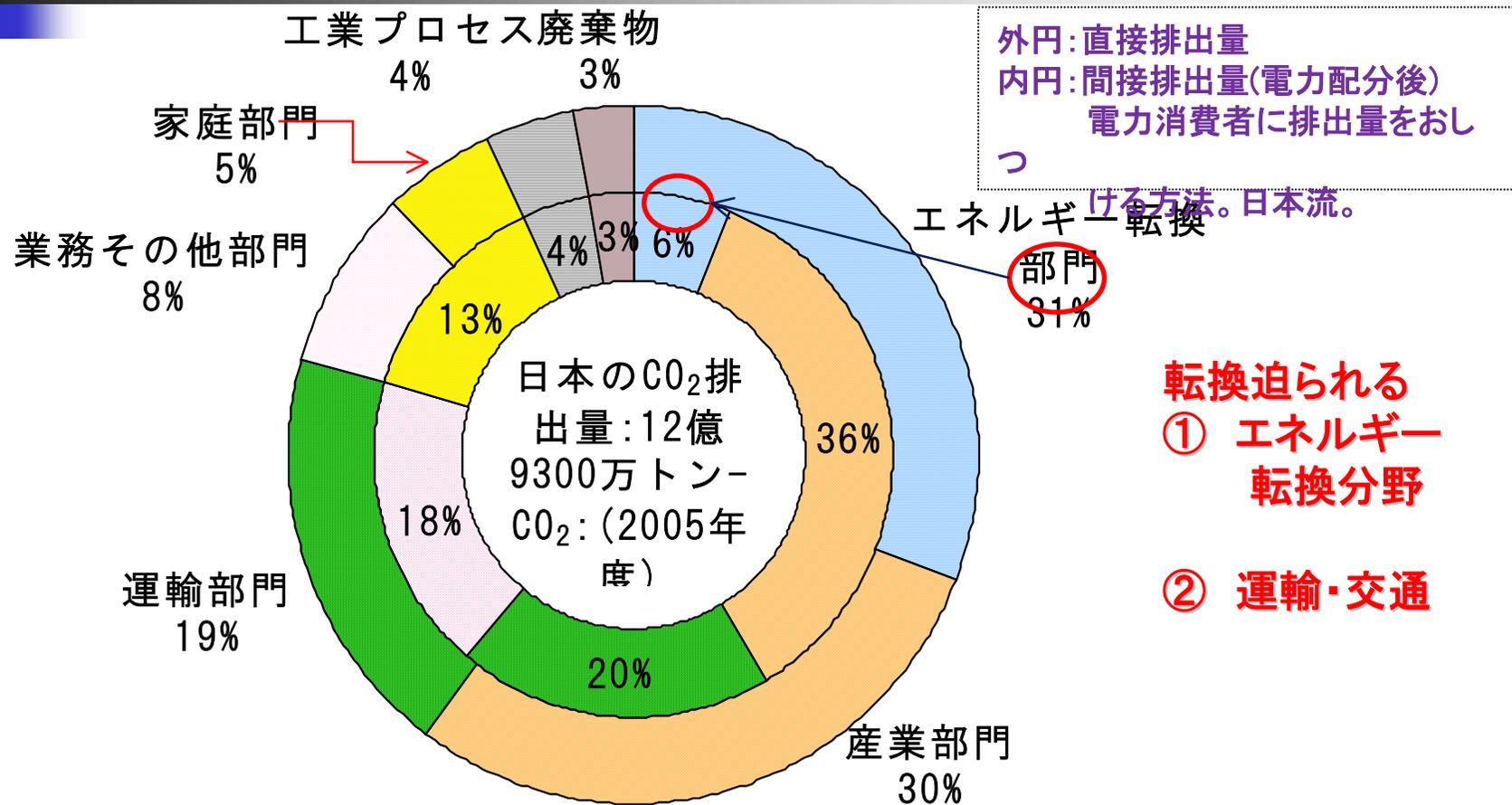
「環境家計簿」

「環境フェア」

「市民向け講座」

市民向け啓発が中心

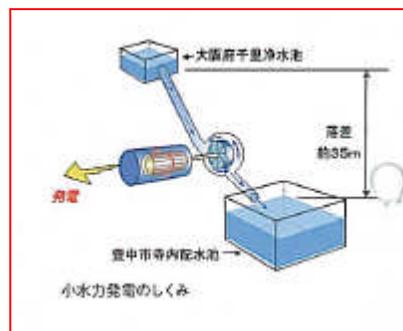
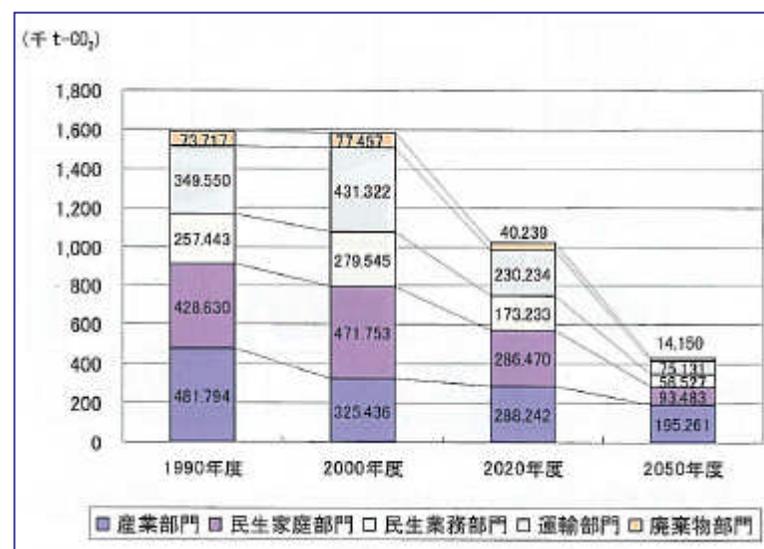
市民向け啓発中心の背景はこれ！

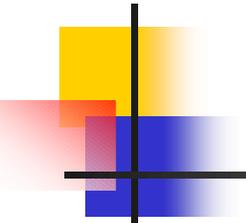


出所：温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ(1990～2005年度)」(2007)より作成

それでも奮闘する豊中市

2020年に20%削減
2050年に70%削減する計画





COP15・コペンハーゲンへ 「CO₂削減府民会議」の設置を

- アメリカは動いている。
- EUはすすんでいる。
- 中国も変化している。
- 中期目標(2013~2020)も示さず、
また、化石賞？

地球規模で考えて、実践は地域で